

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1032 市有財産管理経費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本施策	99 対象外	目	05	財産管理費
		細目	115	市有財産管理経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	市有財産管理経費
担当部課	コード	700100		担当者氏名
	名称	大山田振興課		
		連絡先	47 - 1150 (内線) 239	

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	市有財産(土地、構築物)、公用車	※対象件数
成果(どうする)	適正な管理を行うことにより、市財産の保全と安全利用が可能となる。	
根拠法令・要綱等	地方自治法、伊賀市会計規則、伊賀市自動車管理規程他	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	市有土地の草刈業務委託等維持管理 公用車の整備、運行管理	
社会情勢の変化等	火災予防や環境保全の面で、草刈業務における刈草処理の必要性が高まっている。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
除草委託数		件	目標	4	目標	3
			実績	4	実績	3
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
管理公用車事故件数		安全運行ができていますか	件	目標	0	目標	0
				実績	0	実績	1
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計(A)	937	825	1,650	1,650
Aの財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	0	0	0
一般財源	937	825	1,650	1,650
事業投入人件費(B)	0.5人 3,600	0.4人 2,880	0.3人 2,160	0.3人 2,160
フルコスト(A)+(B)	4,537	3,705	3,810	3,810

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
有効性	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	○
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	○
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
昨年度の取組状況	改善策	公共用地には、公園用地として周辺住民が利用している箇所もあり、安全に利用できるよう引き続き草刈業務を行なっていく。またその他の未利用地については、売却等についても検討していく。 公用車の管理については燃料費の高騰により、経費削減は厳しい状況ではあるが、乗合せ等で燃料費の削減を図る。
	【状況】	計画のとおり進んでいる
今後の方向性(Action)	【理由】	全市統一基準により、市有地を適正に管理し、未利用地を整理していく。
	現時点における課題、その他	財産管理について、全市統一基準による事務処理への移行期間となっている。 経費面では、草刈業務にかかる刈草処理の必要性から処理手数料の支出が伴うため、経費削減は難しい。
課題、その他に対する改善策	【いつまでに、何を、どうする】	早期に、可能なものから管財課へ事務移管していく。

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	土永瑞穂
【方向性】	手法改善
【理由】	全市統一基準により、市有地を適正に管理し、未利用地を整理していく。
現時点における課題、その他	財産管理について、全市統一基準による事務処理への移行期間となっている。 経費面では、草刈業務にかかる刈草処理の必要性から処理手数料の支出が伴うため、経費削減は難しい。
課題、その他に対する改善策	早期に、可能なものから管財課へ事務移管していく。
【いつまでに、何を、どうする】	